

愛媛県への
問い合わせ先
寄附金申出先

愛媛県総務部管理局総務管理課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
 【電話】089-912-2151 【ファクス】089-921-6363
 【Eメール】soumukanri@pref.ehime.jp
 【ホームページ】ふるさと愛媛応援サイト
<http://www.pref.ehime.jp/h10100/furusatonoze/left.html>

〇県外での現金受け入れ窓口

愛媛県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目6番3号 都道府県会館11階
 【電話】03-5212-9071 【ファクス】03-5212-9072

愛媛県大阪事務所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目9-1 肥後橋センタービル
 【電話】06-6441-2829 【ファクス】06-6441-2830



平成24年度

ふるさと**愛媛**応援寄附金
活用事業実績報告書

～ふるさと納税への御協力ありがとうございました～

愛媛県では「ふるさと愛媛応援寄附金」として、平成23年度に引き続き、本県ゆかりの皆様にご協力をお願いしましたところ、平成24年度中に78人の方々から493万6千円の御寄附をいただきました。

この貴重な寄附金は、愛媛の畜産物のブランド化やえひめ国体に向けた競技力の向上など、4分野8事業の財源として活用させていただいたところであり、皆様の御芳志に改めて感謝を申し上げます。

今後とも、皆様と、ふるさと愛媛との縁を大切に育んでまいりたいと考えておりますので、愛媛の発展に温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

愛媛県知事 中村時広

■ 県内の各市町への御寄附ありがとうございました。

平成24年度も、愛媛県への寄附とは別に県内の20市町に対しても多くの方々から温かい御寄附をいただきました。

今後も引き続き、県内の市町への御支援よろしくをお願いいたします。

なお、寄附の方法や寄附金の活用内容など、詳しくはそれぞれの市町にお問い合わせください。

〇各市町へのお問合せ先・寄附金申出先

市町名	課名	郵便番号	住所	電話番号
松山市	納税課	790-8571	松山市二番町4丁目7番地2	089-948-6850
今治市	市民税課	794-8511	今治市別宮町1丁目4番地1	0898-36-1510
宇和島市	総務課	798-8601	宇和島市曙町1番地	0895-24-1111(内2426)
八幡浜市	政策推進課	796-8501	八幡浜市北浜1丁目1番1号	0894-22-3111(内342)
新居浜市	総合政策課	792-8585	新居浜市一宮町1丁目5番1号	0897-65-1210
西条市	納税課	793-8601	西条市明屋敷164番地	0897-56-5151(内2286)
大洲市	企画調整課	795-8601	大洲市大洲690番地の1	0893-24-1728
伊予市	財務課	799-3193	伊予市米湊820番地	089-982-1111(内515)
四国中央市	財政課	799-0497	四国中央市三島宮川4丁目6番55号	0896-28-6007
西予市	税務課	797-8501	西予市宇和町卯之町3丁目434番地1	0894-62-6401
東温市	総務課	791-0292	東温市見奈良530番地1	089-964-4400
上島町	総務課	794-2592	上島町弓削下弓削210番地	0897-77-2500
久万高原町	総務課	791-1201	久万高原町久万212番地	0892-21-1111(内101)
松前町	総務課	791-3192	松前町筒井631番地	089-985-4103
砥部町	企画財政課	791-2195	砥部町宮内1392番地	089-962-7250
内子町	総務課	795-0392	内子町平岡甲168番地	0893-44-2111(内325)
伊方町	政策推進課	796-0301	伊方町湊浦1993番地1	0894-38-0214
松野町	総務課企画財政グループ	798-2192	松野町松丸343番地	0895-42-1111
鬼北町	企画財政課	798-1395	鬼北町大字近永800番地1	0895-45-1111(内2232)
愛南町	企画財政課	798-4196	愛南町城辺甲2420番地	0895-72-7317





平成24年度に頂いた寄附金493万6千円(78件)は、次の事業に活用しました。

生き活きとした
愛顔あふれる
「えひめ」づくり

活用金額 1,336,000円

愛媛の畜産物のブランド化とPR

●愛媛ブランド牛のマーケティング戦略の検討、愛媛の畜産物の戦略的なPRの展開

新たに研究開発を開始した愛媛ブランド牛(仮称)について、開発段階から市場性に関する調査分析を実施し、情報を開発・流通関係者等と共有するとともに、専門家の指導助言を得ながら、今後の研究開発の方向性や他のブランド畜産物と連携したマーケティング戦略の検討を行いました。

また、食専門の全国誌と連携し、愛媛ブランド牛の開発状況や愛媛甘とろ豚・媛っこ地鶏の生産販売に関する記事を掲載して、優れた品質や生産者など「愛媛の畜産期待の3産品」の魅力を情報発信するとともに、3産品それぞれのPR用映像素材を作成し、ホームページや各種イベント等で活用するなど、戦略的なPRを展開しました。



愛媛ブランド牛(仮称)の現地検討風景

しまなみ海道の魅力創出

●「瀬戸内しまのわ2014」開催に向けた機運醸成、サイクリング関連施設の整備

◆「瀬戸内しまのわ2014」開催に向けた機運醸成

平成26年開催する「瀬戸内しまのわ2014」に向けて、準備委員会を設立し、瀬戸内島しょ部地域の住民へ直接説明する場を設け、地元ヒアリングを全17回実施しました。

また、地域活性化や観光振興の観点から、今後の可能性を探るシンポジウムを開催しました。

◆サイクリング関連施設の整備

サイクリングブームの高まりを踏まえ、しまなみ海道沿線地域において、サイクリストがより快適なサイクリングを楽しめるよう施設(サイクルスタンド、自転車修理工具)整備を行いました。



整備したスタンドを利用するサイクリスト

輝く
愛顔あふれる
「えひめ」づくり

活用金額 1,200,000円

小児救急医療に係る育児不安の緩和

●子どもの急な病気・事故に関する相談に、医師や看護師が電話でアドバイス

患者や医療機関の負担軽減を図るとともに、保護者等の育児不安の緩和のため、毎日、19時から翌朝8時までの間、子どもの急な病気・事故に関する保護者等からの相談に対し、医師や看護師が電話で症状や経過等を聴取した上で、症状に応じた処置や適切な受診のアドバイスを行うとともに、要望があった場合は、医療機関を紹介しています。

平成24年度は、年間7,801件(1日当たり21.4件)の発熱や怪我などに関する相談に対して、医療機関の受診や経過観察などのアドバイスを行いました。



小児救急医療電話相談チラシ

えひめ国体に向けた競技力の向上

●えひめ国体での天皇杯獲得に向け、競技力向上対策を推進

国体やその他の全国大会で、愛媛にゆかりのある選手が活躍することは、本県にとってスポーツの振興のみならず、次代を担う子供たちに憧れや希望を与えるものです。

県競技力向上対策本部では、平成29年の「愛顔つなぐえひめ国体」で大活躍が期待される、本県の手づくり選手の育成・強化を図るため、県内トップレベルの中高生や、国体開催時に主力となる世代の有望選手(ターゲットエイジ)等を対象に、強化練習や県外遠征等の強化事業を実施したほか、スポーツ医科学に関する講習会を開催するなど、本県選手のレベルアップに積極的に取り組みました。



ターゲットエイジ強化事業の実施状況

やすらぎの
愛顔あふれる
「えひめ」づくり

活用金額 1,200,000円

新ふるさとづくり総合支援事業を活用した移住促進事業

●移住希望者が愛媛暮らしを体験できる住宅の整備等を行う市町に対する支援

今治市では、旧保育所を改修し、魅力ある田舎暮らしを簡単に、楽しく体験できるよう、短期移住体験施設(3部屋、定員25人)を整備しました。地元住民は、この施設を利用する滞在者のために、農業体験等を受け入れるとともに、近隣の滞在型農業体験施設とも連携して滞在者との交流を図ることとしています。

なお、県では、施設整備経費の一部を助成し、移住促進・地域の活性化を図りました。

認知症医療体制の充実

●認知症疾患医療センターの設置

今後急速な増加が見込まれる認知症高齢者に対する医療体制の充実を図るため、認知症疾患医療センターの設置による認知症専門医療体制の整備に取り組みました。

※認知症疾患医療センター：専門医療相談や早期の鑑別診断と治療方針の決定を行い、適切な医療や福祉サービスへ繋ぐとともに、認知症医療に関する情報提供や研修等を行う専門機関

愛媛県がん対策推進計画の総合的な推進

●愛媛県がん対策推進計画の推進のため、総合的ながん対策を実施

がん診療連携拠点病院が実施する医療従事者に対する研修、がんに関する各種情報の収集・提供事業等に対して助成を行い、がん医療体制の整備に努めたほか、四国がんセンターに委託し、緩和ケアに関する研修企画や診療支援を行うとともに、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会に委託し、がん患者・家族への相談支援体制の充実に取り組むなど、愛媛県がん対策推進計画を推進するため、総合的ながん対策を実施しました。



移住体験宿泊施設(クルソラントウレーベン大三島)



認知症疾患医療センター(砥部病院)

やさしい
愛顔あふれる
「えひめ」づくり

活用金額 1,200,000円

生物多様性の保全

●豊かな自然を守り、自然と共生する社会の実現を図る

県民総ぐるみで「内なる生物多様性」を守り伝え発展させていくために、身近な暮らしの中にある生物多様性をテーマにしたワークショップや研修会を、NPO等民間団体と協働して、県内各地で開催しました。

また、ニホンカワウソをはじめ、絶滅のおそれのある野生動物の状況を把握するために、チラシを配布するなどして広く目撃情報の提供を呼びかけるとともに、現地調査体制を強化し、レッドデータブックの改訂作業に着手しました。

●特定外来生物に関する普及啓発を行い、生物多様性の保全を図る

平成24年4月1日に設立した生物多様性センターと連携して、隣接する県で被害が深刻化しているアライグマ等、特定外来生物に関する情報収集・普及啓発を行うとともに、生息・生育状況や生態系への影響等を調査するなど、防除対策を実施しました。



ニホンカワウソの情報提供チラシ



外来生物対策のためのチラシ